

## 【活動日誌283】國學院大學の皆様がご来館されました

当館では、学芸員による解説付きの団体見学を受け入れています。先日は、國學院大學から3名の先生と、大学院で学ぶ9名の学生さんが見学にいらっしゃいました。

見学はツアー形式とし、一号棟の歴史を説明したのち、3つある展示室の見どころを紹介しました。定期交換展示室ではミニ展示「長次郎の再出発」をご覧いただきました。今回の見学会は引率を担当された先生がキリンの長次郎に興味を持っていただいたことがきっかけとなっています。学生の皆さんは事前に長次郎に関する資料を見てくださっていたのですが、間近で見ることができる長次郎の頭蓋骨や頸椎の大きさに驚かれています。歴史系展示室では本学の歴史を紹介するとともに、展示中の手書きの講義録をご覧いただきました。こちらの資料は本学創設者の一人である柳澤銀蔵の講義の内容をまとめた手書き資料なのですが、字にクセのある方が書かれたようで、当館スタッフも解読に手を焼いています。皆さんはクセ字の度合いに驚きながらも、熱心に資料をご覧になっていました。自然系展示室では常設展示中の剥製とミニ展示「日獣大アシカ展 ～なぞの標本と日本の鰭脚類～」をご紹介します。普段は骨格標本や剥製を扱われることはないそうで、剥製の作り方も含めて説明をしました。また、院生の皆さんは博物館学を学ばれていると事前に伺っていたため、通常の建物解説・展示解説に加え、温湿度管理の難しさなど、文化財に登録されている建築を活用した施設ならではの資料管理上の課題もご紹介しました。

団体見学をご希望の方は、来館希望日の3週間前までのお問い合わせをお願いしています。都合により開館日であっても団体見学をお受けできない場合や、スタッフによる解説ができない場合がございますが、まずはお気軽に当館までご相談ください。

（学芸員 石井）

※ミニ展示「日獣大アシカ展 ～なぞの標本と日本の鰭脚類～」は現在は終了しています

# 日本獣医生命科学大学 # 博物館 # 団体見学

2025年12月4日の記事



- ① 一号棟の紹介
- ② アシカ展での解説の様子
- ③ シカ展の会場にて紹介していた古いアシカの絵にも興味を持たれていました

## 【活動日誌284】

### 獣医保健看護学科創設20周年記念事業にあわせて開館しました

本学の獣医保健看護学科は2005年4月に創設され、今年で20周年を迎えました。これを記念したイベントが11月23日に開催され、当館はイベントにあわせた特別開館を実施しました。

当館は本学で最も古い木造校舎である一号棟を活動拠点とし、2015年に開館しました。卒業生の中には博物館ができたことをご存知ではない方もいらっしゃる、在学中とは異なる一号棟の様子に驚かれていました。在学中に見ていたキリンの骨格標本をお子さんと一緒に見に来たという方も来館されたため、今年の1月に骨格標本を解体したことをご説明し、ミニ展示「長次郎の再出発」の会場にて公開している頭蓋骨と頸椎をご覧いただきました。

今回は大学主催のイベントへの対応として特別開館を実施しましたが、10名以上の団体であれば学芸員による解説付きのツアーを実施することも可能です。卒業生の方は、同期会の際などに博物館を見学されてみてはいかがでしょうか？都合により開館日であっても団体見学をお受けできない場合や、スタッフによる解説ができない場合がございますが、まずはお気軽に当館までご相談ください。

※団体見学には来館希望日の3週間前までのお問い合わせが必須となります

(学芸員 石井)

# 日本獣医生命科学大学 # 博物館 # 獣医保健看護学科

#### ■ 来館案内

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004/access/index.html/>

団体見学の詳細はこちらをご覧ください

#### ■ 11月23日(月・祝)に獣医保健看護学科創設20周年記念事業を開催しました

<https://www.nvlu.ac.jp/news/20251123-01.html/>

20周年記念事業全体のレポートはこちらをご覧ください

2025年12月6日の記事



- ① 当日の大学正門の様子
- ② 長次郎の全身骨格標本を展示していた場所には、現在は長次郎の歴史を紹介するパネルを置いています

## 【活動日誌285】ミニ展示「日獣大アシカ展」が終了しました

今年の7月、海の日から開始した日獣大アシカ展は、11月末に会期を終了しました。

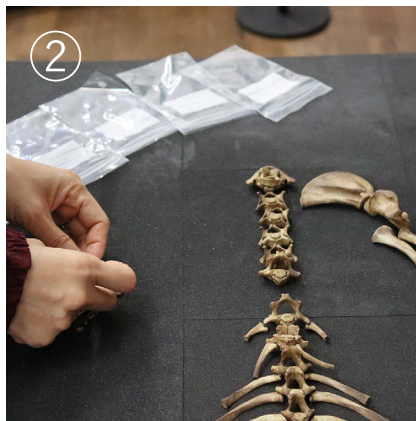
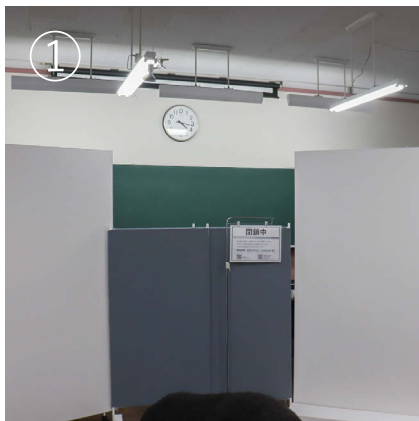
会期中には7月、8月、10月、11月の本学のオープンキャンパスおよび11月の大学祭があり、それらの機会に来てくださったみなさまや、夏休み期間に来てくださった方など、大変多くの方に展示をご覧いただきました。また、会期終了間際の11月に入ってからこの展示のことを知って、アシカやアザラシが好きだという方が展示を見に来てくださったりもしました。

今回の主役のアシカ科鰭脚類の剥製と骨格標本は、種名がわからないまま展示することになり、調査の途中経過をご覧いただくことになりましたが、見てくださった多くの方から調査の結果が楽しみとのお声をいただいております。今後も調査を続け、結果については当館webサイトやこちらのFacebookを通じてお知らせしていきたいと思っています。

今後も日獣大のアシカたちにご注目ください。

(学芸員 廣瀬)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #アシカ



- ① 説現在の自然系展示室の様子。ミニ展示を開催していたエリアは現在閉鎖中となっていますが、こちらで次回企画展が開催となる予定です。企画展の準備で音がする場合がありますので、自然系展示室をご見学の際はその点をどうぞご了承ください。
- ② 骨格標本の片付けの様子。部位別に並び順がわかるように小分けにして保管しました。

## 【活動日誌286】博物館教育論の授業にて当館が活用されました

当館は本学で学芸員課程を履修する学生の教育の場としての役割を担っています。先日は、学芸員課程として開講されている科目の一つである博物館教育論の一環で、履修生の3年生が博物館にいらしていました。

博物館教育論では、博物館における教育活動の必要性を知り、博物館が社会にどのような役割を果たせるかを考えていくことを授業の狙いとしています。今回の授業では、当館がこれまでに作成した教材や実施したワークショップについて博物館スタッフが説明した後で、履修生の皆さんに実際に教材を見てもらいました。履修生の皆さんからは「シカの角を活用したワークショップを考えているが博物館の資料が活用できないか?」「動物の骨をパズルのように使うことができないか?」など、様々な意見が出てきました。

次回以降の授業では、班ごとに教育プログラムの内容を検討し、各班のアイデアの発表会を開催する予定です。発表会の様子もFacebookにてご紹介いたしますので、どうぞ楽しみに！

(学芸員 石井)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #学芸員課程



- ① スタッフによる説明の様子
- ② 展示室の標本や展示を見学する様子
- ③ 骨格標本を見学する様子

## 【活動日誌287】博物館教育論の発表会に参加しました

度々ご紹介させていただいていますが、当館は本学で学芸員課程を履修する学生の教育の場として活用されています。去年に引き続き今年も、学芸員課程として開講されている科目の一つである博物館教育論の一環として行われた教育プログラムの発表会に学芸員が参加しましたので、その時の様子をご紹介します。

学芸員課程の履修生たちには、発表会に先駆けて当館の見学をし、教育プログラムに用いる教材も実際に見てもらいました(見学の様子は前回の記事で詳しく紹介しています)。その後履修生たちは2週間かけて教育プログラムの内容を検討し、発表会に挑みました。

発表会では、みなさん当館の自然系展示室で現在展示している剥製や解説パネル等を活用して実施する教育プログラムを考えてくださっていました。スタンプなどの道具を使ってお子さんたちにも興味を持ってもらうプログラムや、頭蓋骨を使って食性による骨の違いを学ぶ専門的なプログラムなど、対象やねらいも異なる工夫を凝らしたプログラムが提案されていました。履修生の中には卒業後に実際に学芸員になる方もいらっしゃると思いますので、ぜひこの経験を元に現場で教育プログラムを実践してもらいたいと思いました。

博物館では学芸員課程だけでなく、学内の講義や実習での利用を受け入れており、教材や標本の貸し出しも行っています。実習や講義での利用をご希望の方はぜひ博物館スタッフにご連絡ください。

(学芸員 廣瀬)

#学芸員課程 #日本獣医生命科学大学 #博物館

### ■【活動日誌286】博物館教育論の授業にて当館が活用されました

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02tSsFFxzFxPVoD4cdHdYrzmaK3xFEsm9sDSHbi6GWoxoq6vvFBH4DTiadSJ6UErFpl>

学生たちが教材を見に来たときの様子はこちらの記事で紹介しています

## 2025年12月20日の記事



① 担当される増田万里奈先生による講義の様子

② 履修生達の発表の様子

## 【活動日誌288】次回の展示の準備をしています

11月末を持って自然系展示室で開催していたミニ展示「日獣大アシカ展 ～なぞの標本と日本の鰭脚類～」が終了し、現在はミニ展示を行っていた会場を区切り、次回の企画展を準備しています。

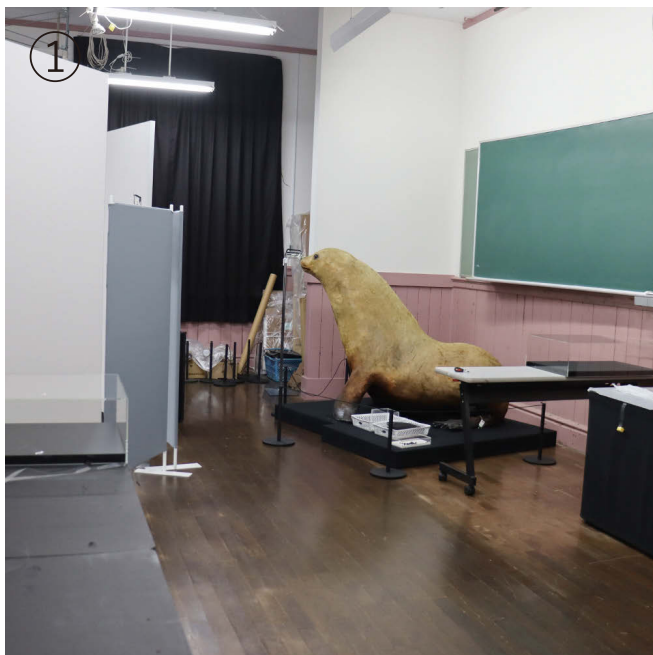
新しい展示は当館の開館10周年を記念したもので、当館がこれまでに収集した様々な資料をぎゅっとまとめたものになる予定です。「様々な資料をまとめた部屋」と聞けば、博物館好きの方であればどのようなものになるか、すぐに思い浮かぶかもしれません。

展示準備に伴い、年内の12月26日(金)までは自然系展示室の一部を閉鎖いたします。また、年が明けた1月8日(木)から2月14日(土)までは、自然系展示室を全面閉鎖いたします。

次回企画展の詳細は年明けに発表する予定です。どうぞご期待下さい。

(学芸員 石井)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #企画展



- ① 現在の企画展会場の様子。アシカ展の関係の展示物はアシカを除いてすべてなくなりました。
- ② 展示準備の様子。アシカ展で使っていたケースを新しい展示で使うために配置の検討・移動を行っています。

## 【年末のご挨拶】

本日が年内の最終更新日となりました。今年の主な活動を振り返りたいと思います。

今年は当館にとって変化の多い年となりました。2015年の開館以降博物館相当施設として活動していた当館ですが、改正博物館法に基づく登録申請を行い、3月31日付けで「登録博物館」として新規登録されました。また、開館当初から当館のご見学には事前のご予約をお願いしていましたが、7月に予約制度を停止し、開館日時であればどなたでも自由にご見学いただけるようになりました。7月以降は平日も多数の方にご来館いただき、今年度の来館者数は過去最高となる見込みです。

展示活動としては、6月からはミニ展示「長次郎の再出発」を、7月からはミニ展示「日獣大アシカ展 ～なぞの標本と日本の鰭脚類～」を開催しました。アシカ展は11月で会期が終了となりましたが、長次郎の再出発は好評につき会期を延長し、来年6月までご覧いただくことが可能です。長次郎に関しては、来年3月上旬に書籍の販売も予定しております。ぜひ来年はミニ展示・書籍ともにお楽しみいただければと思います。

その他にも、地域の子どもたちによる団体見学の受け入れや、本学で学芸員課程を履修する学生による実習の受け入れ、学内外のイベントにあわせた特別開館の実施など、様々な活動を行いました。

2月からはいよいよ新しい企画展が始まる予定です。来年も当館の活動にご期待下さい。

(学芸員 石井)

#日本獣医生命科学大学 #博物館

### ■【休館情報】年末年始の休業日について

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20251203-03.html/>

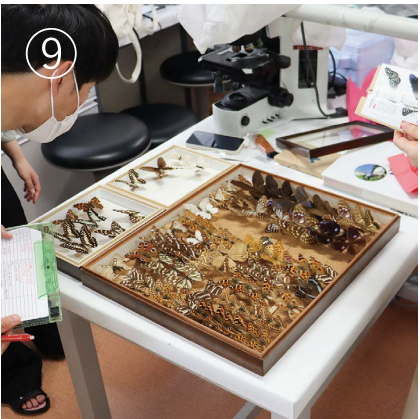
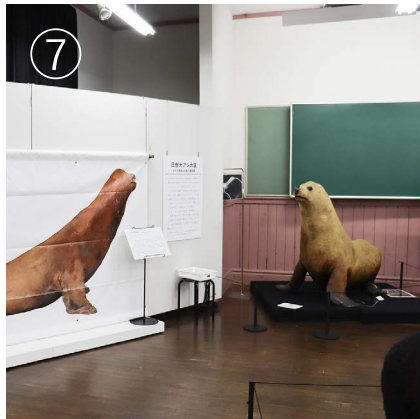
年末年始の休業についてはこちらをご覧ください

### ■臨時休館・物販停止 等(12月・1月)

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20251203-02.html/>

1月の予定の詳細はこちらをご覧ください

2025年12月27日の記事



2025年12月27日の記事

1月：【活動日誌230】キリン「長次郎」骨格標本を解体しました

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02UQU8hBmuyZRjtQ4rZymgxfXpU6NuJoF96PsbmyB6q4E5rPFhmoLjiKn23UF8KLTl>

2月：【活動日誌231】小学生による団体見学を受け入れました

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02s21prezrUpdAMzrd32ekRFqKCZzYxvUQB6gbtMScTvxLYghuoKiNwUkJ8uHLkEaWl>

3月：【活動日誌235】アシカ類骨格標本の調査 その1

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02e4zwNNb5aV8L1wes7xi3oZ4wgZsGLzK9NEPGxUUVes3FqDAXVqUGV8fp71LSq5udl>

4月：【活動日誌239】2025年度新入生歓迎会に協力しました

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02kAXe3LyNcYdEgSiTAuq67HZWw37edwr1ZJL293pHvNHgxCnsd9RrG6ERZBhLzQJl>

5月：【活動日誌247】国際博物館の日に特別解説を実施しました

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02kCxNqJFpFsGxnxM6ZN1dai3N7iLNggLLs4DUigk1qvbjLaoGWQFJshGkAQ4mT88Kl>

6月：【活動日誌252】ミニ展示「長次郎の再出発」が始まりました

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0NyX4twS1TXyD7dZZH41pcTdCKdNbGCN5b74ucwoSXPnStuSWxJZZjY8SBR3MDFd7l>

2025年12月27日の記事

7月：【活動日誌260】ミニ展示「日獣大アシカ展 ～なぞの標本と日本の鰭脚類～」が始まりました

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0jpbywVXY4EZZqveFHuHKhco1tNFbnBSL14Puy7coKtLyMVnQsHDSALKVyUxWUUZI>

8月：【活動日誌264】ワークショップ「武蔵野動物観察隊5 “一号棟のキリン”と日獣大探検ツアー」に講師として参加しました

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02Tp7LcY9DJ3nEER5wfS9CpdkbGK2MsmZzhUtAU4vQBrbZAPZsZbHaNuqXCCMbZVjJI>

9月：【活動日誌271】昆虫標本のデータ整理続報

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02Vzhms1fY4Ab2rNKDtdCM47y5i7Veufx1KLLzYyBCv4vML21p2w4vA3PgiCMzVEKTI>

10月：【活動日誌276】学内のサークルとの連携活動

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02aGCQEWw97wSYq1v7E1PidLCZN3epp7GaiihW8onFPUDdnJneih1LCY9Yjgu6mqi7I>

11月：【活動日誌277】特別解説ツアー実施中！

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0W6JHfJNhtnWMWVwiFkedZSJHt8L6GCEJWXZBohKMef2eKJ6DnmkaMZfub9aQGddYI>

12月：【活動日誌286】博物館教育論の授業にて当館が活用されました

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02tSsFFxzFxPVoD4cdHdYrзмаK3xFEsm9sDShbi6GWoxoq6vvFBH4DTiadSJ6UErFpl>